



《生徒の指標》【旭中学校生徒の誓い】

「世界の旭中学校 私がそれを代表する」 旭中学生会

1. 私たちは、心を込めてあいさつをします。
2. 私たちは、時間を守り、自ら学習に励みます。
3. 私たちは、他人の気持ちを尊重し、助け合います。
4. 私たちは、進んで働きます。
5. 私たちは、社会のルールを守り、自信をもって生き抜きます。

令和5年10月30日 文責：東原定雄

2 学期始業式

10月12日、短い学期間休業を経て2学期が始まりました。始業式では、各学年の代表者から「2学期の抱負」の発表がありました。学習、部活動、学校行事にしっかりと取り組んでいきたい、自分の課題を克服し、将来について考えていきたい、また進路の実現に向けて努力していきたいなど、前向きな気持ちで頑張っていこうとする思いが発表されました。私からは、「学習や生活の振り返りを大切にしてほしい」、「読書は読解力を高め人生を豊かにする」などの話をしました。

その後、生徒会役員任命式を行いました。2学期から2年生中心の執行部となり、様々なことが3年生から引き継がれます。



外部講師による特別授業

本校では、外部講師にお出でいただき、普段の授業では聞くことのできない貴重なお話をいただく機会を数多く設けています。10月は三つの特別授業を実施しました。

性教育サポート事業 12日(木)

3年生が産婦人科医の佐藤尚人先生(すみれレディースクリニック)からお話を聞きました。妊娠中絶の現状や心身への影響等についての認識を深め、適切な意志決定や行動選択ができるようにすることを目的とする、宇都宮市が行っている事業です。皆、真剣に聞いていました。



交通安全教室 16日(月)

宇都宮中央警察署の警察官からお話を聞き、スタントマンによる交通事故の再現を見て事故の危険性を体感し、ルールを守ることの重要性を再認識することができました。

また、全国被害者支援ネットワーク理事の和気様から、不慮の事故で亡くなった家族への思いなど、命の大切さを学ぶ貴重なお話を聞きました。



薬物乱用防止教室 18日(水)

中3の女子が卒業生に誘われ、「集中できる。リラックスできる。一回やって合わなければやめればいい。」と言われてドラッグ地獄に落ちていった実話に基づいた、劇団三十六計の皆さんによる劇を見ました。自分だけでなく、家族もつらい思いをすることが分かる内容で、薬物乱用の恐ろしさが伝わりました。



新人県大会

9月29日の水泳部, 10月12日から14日のバドミントン部, 陸上競技部, 弓道部, 剣道部, テニスが, 県新人体育大会に出場し, 持てる力を精一杯発揮して頑張りました。応援ありがとうございました。



宇河地区駅伝大会

10月17日, みずほの自然の森公園で宇河地区駅伝競走大会が開催されました。特設部活動である駅伝部は, 活動を希望する生徒約50人が集まり, 夏休み前から朝練習を中心に活動をしてきました。大会当日は男女とも練習の成果を発揮し, 素晴らしい走りを見せてくれました。男子は見事準優勝! 11月11日に開催予定の県大会に出場します。引き続き, 応援よろしくお願いします。



小中あいさつ運動

10月17日(火)に城東小, 23日(月)に築瀬小, 26日(木)には中央小であいさつ運動を行い, 母校の後輩たちに元気なあいさつができました。小学校の児童や先生から, 中学生に来てもらえてありがたい, 成長した様子が見られてうれしかったという感想をいただいています。これからも, 元気なあいさつを地域に響き渡らせていきましょう。

